

令和6年度 学校評価書(共通) 後期

校名 宇和島市立玉津小学校

1 自己評価書

教育目標	感謝の気持ちと笑顔を大切にする児童の育成				
基本方針	地域とのつながりを生かした信頼される学校				
本年度重点目標	1 地域とともにある学校づくり 2 心の教育 3 安全・安心な環境づくり 4 学びの充実				
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
確かな学力の定着と向上	① 全国学力・学習状況調査及び市標準学力調査の活用	各調査の分析により成果と課題を把握するとともに、「身に付けさせたい力」の明確化を図り、組織的に推進することができた。	・分析資料の作成	C	C
			・具体的な対策の実施	C	
	② 授業改善	主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に努めた。 ねらいを明確にした分かる授業を行うとともに、学びの成果を実感させる振り返りを行った。 一人1台端末(iPad)やEILS(コンテンツバンク)の活用により、個別最適な学びを推進したり学習内容の定着を図ったりした。	・教師アンケート	C	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	B	
	③ 家庭学習の充実	家庭との協働による主体的な学習習慣の確立に努めた。(予習・復習・振り返り等)	・教師アンケート	C	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	B	
	④ 読書活動の充実	読書に対する関心や意欲が高まるような取組や声掛けを積極的に行った。	・教師アンケート	C	C
			・保護者アンケート	D	
・児童生徒アンケート			C		
⑤ ふるさと学習及びESDの推進	社会や地域の課題解決や活性化に向けた活動及び調べ学習等を通して、地域に対する誇り・愛着の醸成や、持続可能な社会を創造しようとする態度の育成に努めた。	・教師アンケート	B	B	
		・保護者アンケート	B		
		・児童生徒アンケート	A		
<p>(成果○と課題●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年、ICT機器を積極的に授業で利活用できていた。 ○ 国語の学習と読書活動を交えながら読書活動に取り組むことができた。また、並行読書に意欲的に取り組んだ。 ○ 「週に1回は図書室の本を借りる。」「週1回読書の宿題」「読み聞かせ」「本の紹介」等の取組を確実に行うことができた。また、児童が興味を持てる図書をそろえたり、児童が読書に関心が持てるよう働きかけをしたりすることにより、読書意欲が以前よりも高まったように思う。 ○ ふるさと学習は、学習発表会での発表やまとめた資料を掲示する等、学習成果を伝える工夫がされていた。 ○ 町探検や地域の産業について学んだことを学習発表会で地域や保護者に発信することができた。 ○ 各教科等や学校行事と関連させながら、ふるさと学習の充実に努めることができています。 ● 学習への意欲を促したが十分な高まりは得られず、家庭学習が宿題をこなすだけになっていたようだった。 <p>(改善策等☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 学校では意欲的に読書をしているが、「家庭ではゲームやYouTubeばかりで、借りた本もそのまま返している。」という話も聞いた。いろいろな親子読書を紹介するなど、家庭と連携を取りながら読書活動の充実を図りたい。 ☆ 3学期は自主学習に取り組む、児童の学習への意欲を促したい。 ☆ 閉校後もふるさと学習の充実を図っていくように引き継ぎたい。 					
評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
生徒指導の充実	① 規範意識の向上	規範意識を高めるための共通理解、共通実践に努め、児童生徒の行動規範が高まってきた。	・教師アンケート	B	B
			・保護者アンケート	C	
			・児童生徒アンケート	B	
	② 児童生徒の健全育成	児童生徒に寄り添った対応を行うとともに、児童生徒同士の間関係づくりや仲間意識に支えられた集団づくりの推進に努めた。	・教師アンケート	C	B
			・保護者アンケート	B	
			・児童生徒アンケート	A	
		不登校の未然防止や状況改善に向けて、校内体制の整備と早期対応に努め、チームとして取り組んだ。	・教師アンケート	B	B
			・児童生徒アンケート	B	
			・保護者アンケート	B	
	いじめの未然防止、早期発見に努めるとともに、迅速な初期対応や組織的な対応等により、いじめの早期解決に努めた。	・教師アンケート	B	B	
・児童生徒アンケート		A			
・保護者アンケート		B			
③ 関係機関との連携	スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、こども支援教室わかたけ等の積極的な活用を心掛けた。	・教師アンケート	C	B	
		・児童生徒アンケート	B		
		・保護者アンケート	B		
④ 自己肯定感等	自己肯定感を涵養する取組の工夫・改善を具体的にに行った(自分にはいいところがある)。 自己有用感(人の役に立っている)や達成感を醸成する取組により、子どもの意識に変化が見られた。	・教師アンケート	C	B	
		・児童アンケート	B		
		・教師アンケート	C		
・児童アンケート	B				

<p>(成果○と課題●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 児童たちが、いろいろな行事で活躍する場があり、自己肯定感や自己有用感が向上する機会を多く持つことができた。 ○ 6年生が閉校記念行事の内容を考え、保護者や地域、教職員がサポートすることにより、玉津を思う心や自己有用感の醸成につながる取組ができた。 ○ 終わりの会で「うれしかったこと」を発表する時間を設けることで、友達にしてもらったことや言ってもらったことを共有し自己肯定感や自己有用感を高めることができた。 ● 規範意識がまだまだ低い児童がいるのが現状である。 ● 自己有用感が低い児童に対する有効な手立てを考えたい。 <p>(改善策等☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 不登校やいじめなどは見られないが、気を緩めることなく、子どもや保護者に寄り添った組織的な取組を継続していく必要がある。 ☆ 生徒指導上の問題については、教職員間で共通理解を図り、継続して指導していく必要がある。 ☆ 自己有用感を高めるために、ほめる場面を多くしたり、児童との対話の時間をできるだけ確保したりする。 ☆ 児童を取り巻く様々な問題に対しては、校内ではチームとして、また外部の関係諸機関と連携して取り組むようにしていきたい。

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
働き方改革	① ワーク・ライフ・バランス	時間外勤務が月80時間を超える教職員ゼロを目指すために、教職員の働き方の意識改革に努めた。	・教師アンケート ・「出勤・退庁調査」の分析と活用	B B	B
	② 働きやすい環境づくり	「何でも相談し合える雰囲気づくり」「経験の浅い教職員を皆で支える雰囲気づくり」など、温かく働きやすい職場づくりに努めた。(枠を移動しました。)	・教師アンケート	B	B
	③ 他の教職員のサポート体制の充実	休業日の設定を含めた計画的な課外活動や部活動等の適切な運営がなされた。	・教師アンケート	B	B

<p>(成果○と課題●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 年次休暇を取得しやすい雰囲気があって、とてもありがたい。 ○ 学校行事や読み聞かせ等に、公民館や保護者・地域の方々協力していただくことで、教職員の負担軽減が図られている。 ○ 年休・病休等の対応で、授業交換や代教を快く引き受けていただくなど、協力し合って対応することができた。 <p>(改善策等☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 一人一人が勤務時間を把握し、よりよいワークライフバランスの意識を持つ。また、健康第一で無理をしない勤務形態をとる。 ☆ 閉校を控え、公民館や地域の方々に感謝の気持ちを伝える活動を考えたい。 ☆ 業務改善については、まだ改善の余地がある。3学期以降も教職員からアイデアを募集して具体的な取組を進めていきたい。
--

評価項目	評価小項目	評価の観点	評価資料	評価	評価
地域との連携	① 学校運営協議会の活性化	全教職員に対して、学校運営協議会の役割・目的の周知徹底に努めた(校内体制)。	・教師アンケート	B	B
		学校運営協議会・地域学校協働活動の活性化(地域・保護者へ)を図り、熟議によって地域の力を学校運営に生かすよう努めた。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	B B B	
	② 情報発信	家庭や地域に対して、教育活動に関する情報を、文書やホームページ等で積極的に発信した。	・教師アンケート ・保護者アンケート ・地域アンケート	B A A	

<p>(成果○と課題●)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域学校協働活動本部の推進員を招き、学校運営協議会の役割や目的について教職員に周知することができた。 ○ 閉校行事も学校だけの意見ではなく、地域の方の意見も反映することができた。 ○ 今年度末の閉校に向け、学校運営協議会の役割は大きく、本校を取り巻く様々な方とともに閉校に関わる行事等を行っていることに感謝している。 ● 3学期も電話や来校者の対応について、相手の身になった気持ちの良い対応を心掛けたい。 <p>(改善策等☆)</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 学校からの保護者や地域への依頼だけでなく、学校や児童、教職員が地域のためにできることがあれば、声を掛けていきたい。 ☆ 学校運営協議会の活性化や学校だよりを活用して、環境整備等の協力を地域にも呼び掛けたい。 ☆ 本格的な閉校準備に際し、多くの方への対応や様々な機関との連携・協力が必要となってくる。来校者や関係者の気持ちを考えた対応を心掛けたい。

<評価基準> A 目標を達成 B 8割以上達成 C 6割以上達成 D 6割未満